

# 不入流しみ抜き日記 16

ファッションクリーニング イウチ代表  
不入流 匠聖

井内 雅一



## 「二兎」を追って、第3極を開く

写真をご覧頂きたい。綿100%素材の白いYシャツだが、黒いインクのようなシミが点々と付着しているのがお判りいただけるかと思う。一口にインクのしみと言っても状況は様々で、特に不溶性の物質を含む場合は細かい粒子が繊維の奥に入り込んでしまっているので、取り難い最上級となる。手法としては、薬品に溶解しない以上、物理的な作用を加えて繊維から引き離す事になるのだが、現実にはシミが取れる前に生地を傷めてしまつたので、結局取り切れない事も多い。また、しみ抜きの難度は付着物の種類にもよるが、それ以上に、どのような繊維(素材・織・染色・など)に付着したのか、作業を行う時の判断に大きなウェイトを占める事となる。

さて、ここからが本題だが、写真のシミを処理する際、参考のために作業終了までの所要時間を計ってみた。結果としては、全部で5か所あったシミを全て取り除くのに約23分を要している。ここまで読んで私の言わんとしている事がピンときた方は、しみ抜きの本質的な部分をよく理解されたい。

インクのようなシミが5ヶ所。作業所要時間から換算すれば¥3000は頂きたいというのではあるか...



しかし残念な事にしみ抜きを志す多くの方は、手間が掛かろうとも、シミが取れた事だけに満足し、そこから先の世界へ行くとはしない。限りの商談は成立しないだろう。つまりこの事例に関しては、物理的にシミは取れたものの、手間に對する報酬を考えた場合「ある意味取れなかったしみ」と位置付ける事となる。

しかし残念な事にしみ抜きを志す多くの方は、手間は掛かろうとも、シミが取れた事だけに満足し、そこから先の世界へ行くとはしない。限りの商談は成立しないだろう。つまりこの事例に関しては、物理的にシミは取れたものの、手間に對する報酬を考えた場合「ある意味取れなかったしみ」と位置付ける事となる。

注する事で、成り立っている業者もあるだろう。しかしそれは非常に稀なケースであり、市場全体の要求からすれば、所詮は枝葉の部分に過ぎない。一部の富裕層は別として、クリーニングを利用する殆どは一般大衆だ。消費者の財布の中身を考えた場合、量産できない技術は無効であり、王道とは決してなり得ない。業界の有識者が口にする「低料金・利便性」「高料金・高付加価値」の2極化による原理主義的ビジネスモデルは、利用者にとってはまさに中途半端ではなからうか。既成概念を打ち破り「品質と生産性」、この相反する二兎を追って両立する事で、第3極は必ず開けるものと確信している。

## 夏の節電対策

### 店の蛍光灯をLED化 電気使用量&電気代を50%以上削減



竹村勝社長

夏は電力不足対応へ、クリーニング業でも店舗や工場様々な節電策が検討・実施されているが、その中の一つとして注目されているのが看板や室内蛍光灯の「LED化」だ。静岡県機械商(株)美幸工業(沼津市、竹村社長)は5月28、29日に開催したフロントセミナー「表演会」(2面)において、LED蛍光灯の提案を行った。

同社では先月、直営のコインランドリーの店内蛍光灯28本を、すべてLED蛍光灯に転換(写真)。消費電力は22wと少なく、従来の蛍光灯と比較すると、年間電力使用量は9321kwから4272kwと50%以上の削減効果が出る見込み(1日19時間・365日使用)、電気代は、年22万3695円から10万2527円へと下がることが出来る(1kw単価24円)と計算。LED蛍光灯は高価というデメリットもあるが、同店の設備投資額は30万円余りであり、約2年半で償却できる計算だ。

同店では震災以降、蛍光灯を半分消して(写真)下)節電に努めていたというが、竹村社長は「同じ節電対策でも、LEDにすれば店を明るく保つことができる」とする。また、LED蛍光灯は、虫が寄り付きにくい、熱効率が良くエアコンを妨害しない、CO<sub>2</sub>排出量も大幅に削減できるといった効果があるという。店舗ではポスターにより、節電に取り組み環境にも優しい店舗をアピールしている。

なお、美幸工業では、照射角度が220度と大きくクラス最大級の高効率で、かつ業界最軽量を実現した長寿命LED蛍光灯「グリーンルーメン」(株)エリアネットワークを採用。今後、取引する

**半円立体看板 電飾回転看板**  
曲面表示で良く見える 回転看板で集客力UP!

梱包、送料、消費税別途 \*特殊レイアウト別途見積り

¥50,000	¥135,000
※サイズ別 ¥10,000高	※サイズ別 ¥30,000高
※デザイン各種サンプルあり	

www.nk-sign.com  
日本機械工業株式会社 ☎048-251-5523



▲蛍光灯28本をLEDにした店内

▲従来の蛍光灯で節電していた店内

### 主幹余話

業界が元気になるために、機械商の必要な流通グループが情報紙「かなめ」6月号でディスプレイショウ内容を掲載した(11本紙455面)。読むと、これから先の社会に必要な役割をもっと広げ、その積極的なアピールと各パネラーが語って！と各パネラーが語って！と各パネラーが語って！と各パネラーが語って！

クリーニング店、コインランドリー店に提案を行うべく。

業界が元気になるために、機械商の必要な流通グループが情報紙「かなめ」6月号でディスプレイショウ内容を掲載した(11本紙455面)。読むと、これから先の社会に必要な役割をもっと広げ、その積極的なアピールと各パネラーが語って！と各パネラーが語って！と各パネラーが語って！と各パネラーが語って！

クリーニング店、コインランドリー店に提案を行うべく。